

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
映像音響 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	瀧口			実務 経験	有	職種	エンジニア				
授業概要											
<p>現場で使用されている機器は電気で動作している。この電気の基礎を学び機器の基本的な原理を理解する。現場では多くの種類の機器の操作をすることになるが、操作を覚えてただけなのか動作原理まで理解して操作したかにより、対応力、応用力が違ってくる。プロフェッショナルになるための基礎力、応用力を付けるためにはこの科目で基礎を固めることが重要でありステップアップにつながる。</p>											
到達目標											
<p>電気概論、音響機器、映像機器の基本原理を理解し作品制作への応用力を身につける。音楽業界ではレコーディングスタジオ等、映像業界ではMAスタジオ、ビデオ編集室等のポストプロダクションで求められる知識・技術を身につけることにより就職活動、研修等で使える内容を理解することが目標である。資格試験においては一般社団法人日本ポストプロダクション協会認定映像音響処理技術者資格認定試験合格を目標とする。</p>											
授業方法											
<p>テキストは毎回配布する資料の空欄を授業中に埋めることにより完成する。プロジェクター、音響機器を使用し資料、素材映像等の説明をする。また、配布資料の静止画では分かりづらい物は動画を制作しYouTubeにアップしいつでも確認できるようにしている。授業が一方通行にならないように課題を出し適宜質問等をする。理解度確認のため定期的に小テストを行い解説する。</p>											
成績評価方法											
<p>期末試験と課題内容によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>資料は空欄を埋めることにより完成し、卒業後も確認できるようになる。授業中にしっかり書き込み自分の資料を完成させること。欠席等で資料をもらわなかった時はすぐに資料をもらい、空欄を埋めて資料を完成させること。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル（2019年改訂版）											
回数	授業計画										
第1回	同期										
第2回	3原色										
第3回	補色・色の位相										

映像音響 2

第4回	色の三要素 1
第5回	色の3要素 2
第6回	ビデオ信号の構成
第7回	ビデオ信号の測定
第8回	タイムコード
第9回	DF, NDF
第10回	タイムコードと同期
第11回	映像の同期
第12回	画面の切替
第13回	外部同期
第14回	デジタル機器の同期
第15回	同期まとめ